

令和 6年度予算見積調書

課室名: 医療整備課
 担当名: 地域医療対策担当
 内線: 3531

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S108	小児在宅医療推進事業		一般会計	衛生費	医薬費	医務費	地域医療連携推進事業費		
事業期間	平成26年度～	根拠法令	医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律		針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3	
					分野施策	0303 地域医療体制の充実	SDGsターゲット	3-2	
1 事業概要	医療依存度の高い小児の在宅医療体制を整備することで、NICU等の患者の早期退院を促し、周産期母子医療センターの負担軽減を図る。		5 事業説明						
	小児在宅医療推進事業 7,133千円		(1) 事業内容		小児在宅医療推進事業 7,133千円 ア 小児在宅医療に関わる人材の育成 医師、看護師等に対し、在宅医療を行うために必要な研修を実施する。 イ 小児在宅医療の担い手の拡大 医療従事者の他、介護・教育・保育等、小児在宅医療に関わる多職種を対象とした講演形式の研修を開催することで、医療的ケア児の受入経験や専門知識がなくても気軽に学べる場を提供し、地域における担い手の拡大につなげる。 ウ 小児在宅医療検討小委員会 内科、小児科の開業医に働きかけるため、医師会と連携した協議会の運営や、郡市医師会を対象とした講習を開催する。				
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業効果		ア 小児在宅医療患者を受け入れる医療施設等が増加し、医療的ケア児及びその家族が安心して地域での生活ができる医療体制が実現される。 イ NICUに入院している乳幼児を早期に在宅医療へと移行させることが可能になり、周産期医療施設の負担が軽減される。 【活動指標(アウトプット)】 ア 医師、看護師、福祉、教育職等を対象とした研修を開催 11回 イ 郡市医師会員を対象とした会議、講習を開催 3回 【成果指標(アウトカム)】 小児在宅医療に対応可能な訪問看護ステーション数 235施設				
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		繰入金							
決定額	7,133	7,133					0	△1,231	
前年額	8,364	8,364					0		

事業内訳書

事業名	小児在宅医療推進事業		
単位事業名	小児在宅医療推進事業費	予算額	7,133千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 地域医療介護総合確保基金繰入金	7,133	△1,231	
合計	7,133	△1,231	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	450	0	委員会謝金
需用費	8	8	飲料代
役務費	23	0	切手代
委託料	6,602	△1,229	小児在宅医療推進事業委託
使用料及び賃借料	50	△10	会場賃借料
合計	7,133	△1,231	